



十小だより

令和 8 年 6 月 3 0 日
第 4 号
府中市立府中第十小学校

社会とつながる生きた学びを目指して

校長 草刈 あずさ

新しいタブレット端末になり 3 か月たち、子どもたちはすっかり使い方にも慣れていきます。今年度から導入された 3 年生以上のドリルパークやテストパークなどは、「ドリパ」などと略され、すっかり定着し、デジタル時代が着実に進んでいることを感じます。

そのような中で、6 月 9 日から 3 泊 4 日で、5 年生が長野県茅野市にわくわく自然教室に行ってきました。名前の通り、わくわく、そして自然を味わう体験となりました。1 日目は、新たなプログラムの「林業体験」です。5 年生が 3 学期に学習する森林の学習に直結した体験学習です。まずは全員がヘルメットを着用。これだけで何が始まるのか、みんなのテンションが上がりました。その後は、一人一本のこぎりのようなナイフが渡され、腰の鞆に装着。子どもたちの期待が一気に高まったことを感じました。その姿で、クラスごとに、森林に入っていきます。そこで、どんぐりの木を植えるために、ナイフを器用に使って、どんどん下草をきれいにしていきました。そして、スコップで大きな穴を掘って植樹。その間、スタッフの方から様々な森林の働きや管理について話を聞くことができました。普段できない体験だったので、心に残ったことと思います。3 学期の学習の際には、森林の働きや森林を守るために働く人の仕事について理解する際に、教科書の文字ではなく、実感を伴って学べることと思います。



一方、今年度の 6 年生は、府中市役所の子育て応援課の方から社会科の市の政治についての教科書を作成してもらい、待機児童や府中市の税金、市議会について学びました。ちょうどその頃、6 年生の男子から「サッカーのできる公園がほしいので市役所の人に伝えてほしい」という要望があったので、市役所の関係課の方 6 名に来ていただき、子どもたちが府中市の市政に要望する 4 つのプレゼンをしました。公園や人見街道についての要望でしたが、単に「作ってほしい」ではなく「府中市の税金と土木費の割合から・・・」「市民の声（子どもやお年寄りなども）を実現するのが・・・」「メリットは・・・デメリットは・・・」「予算は・・・」など政治を学習した後だからこその内容が多く含まれ、感心しました。6 年生も、教科書に書かれた政治を学ぶだけでなく、自分たちの生活と地方政治を結び付けていて、本当に素晴らしいプレゼンでした。

他学年でも、今後、このように、社会のできごとを自分と結び付けて考えて行動できるような学習に力を入れ、「デジタルが得意で、実社会ともつながっている」子どもたちを育てていきたいと思っています。

夏休みも様々な体験のチャンスです。大きく成長して学校に戻ってくることを期待しています。では、交通安全、熱中症などに気を付けて、夏休みもお過ごしください。